

俺の屍を越えてゆけ

>>1-287・289~293、13-50～54・514・516・535

287 名前：名無しさん@お腹いっぱい, 投稿日：03/11/1917:26 ID:DEVpC9sb
鬱スレより転載、俺の屍を越えていけ

166：名無しさん@お腹いっぱい, (sage)：03/11/1407:35ID:lfrpDWUh
京都に朱点童子（便宜上、以降、鬼朱点と呼びます）と言う鬼がいて京都で暴れまくっていました。
当然、帝も放っておく訳も無く、何人もの武士が鬼朱点のすむ大江山に派遣されましたが人間が勝てるはずも無く、ことごとく返り打ちにあってしまいました。

そんな中、子供が産んだばかりの夫婦、源太とお輪がついに鬼朱点の寝床にまで辿り着く事ができました。
ところが鬼朱点の卑怯な罠で源太はあっさり死亡。
京都においてきたはずの子供を人質に取られ、お輪もなすがままにどこかに連れ去られてしまいます。

そこで鬼朱点はお輪との約束通り、その子供を殺さず、見のがしてくれます。
（ただし、復讐を恐れて人と交わって子孫が残せない呪いと
長くても2年しか生きられない呪いをかけられてしまいます。）

それを哀れに思った天界の最高権力者、大照天昼子が
その子供に力を貸し、神様と交わり子孫を残せるようにしてくれます。
この子供が主人公です。寿命がすぐ来て呆気なく死にますが、
そして神様と交わり、子孫がいつか仇の朱点童子を討つ、というのがOPです。

289 名前：名無しさん@お腹いっぱい, 投稿日：03/11/1917:28 ID:DEVpC9sb
>>287

167：名無しさん@お腹いっぱい, (sage)：03/11/1408:17ID:lfrpDWUh
ここまでは上にも書いてある通り、単純な勧善懲悪物です。ただ、鬼朱点を倒す事で状況が一変します。
また、このゲームには数多くのダンジョンが存在し、そこにいるボスにまで深い意味があります。
とりあえず鬼朱点を倒すまでの状況は以下。

主人公の回りの人

お輪...主人公の母親。行方不明。
黄川人...ダンジョンに入るごとに現れる案内役の少年。そのダンジョンの由来について説明してくれる。
鬼朱天に呪いをかけられたらしく、この世に実体が無い。
大照天昼子...一番偉い神様。善意で主人公を助けてくれた。
実はつい最近、大照天夕子の力添えで天界のトップになった。

ダンジョンの由来とボス

相翼院...心無い人間に子供を奪われた天女が化けて出る場所。
ボス...片羽のお業。子供を奪われ、見せ物小屋を引きずり回された天女が鬼になったもの。
鳥居千万宮...子供のできない女がお百度参りの末、子供を拾った。
その後、次々幸運が訪れたが旦那に捨てられ、その鳥居で首を吊った。
ボス...九尾吊りお紺。首を吊った女が鬼になったもの。
九重楼...天界に無断で人に風と火の使い方を教えた神様が幽閉されている塔。
ボス...雷電五郎、太刀風五郎。
人が風と火で戦争をしている事を憂い、今では人と関わるのを嫌っている。
白骨城...大江山で朱点童子に殺され、成仏できない霊がさまよっている。
ボス...大江ノ捨丸。自分達は見殺しにされたのに
何故か神様に救われた主人公一族を逆恨みしている。

大江山...朱点童子の住処。
ボス...鬼朱点、主人公一族の仇。

290 名前：名無しさん@お腹いっぱい、投稿日：03/11/1917:30ID:DEVpC9sb
>>289

170 : 165(sage) : 03/11/14 10:38 ID:rVMdv8of
そしてようやく鬼朱点を倒すと幾人かの神様が何故か解放され、
同時に中から本物の朱点童子（黄川人）が出てきます。

大まかな事の真相を言うと、昔、片羽ノお業が地上で人間との間に2人、子供を産みました。
（神と人間の間生まれた子供は何故か神をも超える素質を備えており、
神と人の子を天界では「朱点童子」と呼ぶようになりました。）

この事は天界でも問題になり、この子供二人をどうするかが協議され、
天界の意見はまっぴたつに割れました。
朱点童子は危険なので抹殺しようと言う保守派。
逆に朱点童子を人間達の王にしようという革新派。
長い議論の末、時の権力者の大照天夕子が革新派だった事で
一応、天界としては、この二人の子供を人間達の新しい王様にする事に決まりました。

そして色々な人間にこの二人の朱点童子を王として祭り上げるよう神託を与えました。
神託を信じた人間はすぐさま朱点童子達の暮らす大江山へと集まり、
一つの村を形成しはじめました。（大江山に行くと朽ちた家などそのなごりが多数あります）

しかし、それを快く思わない保守派の神様は、当時、人間達の王だった
時の帝に朱点童子達が幼いうちに討て、と神託を与えました。
そして神託を信じた時の帝は大江山に向け拳兵、大江山にすむ信者ともども
片羽のお業は捕まり、そして朱点童子のうちの一人である女の子も殺されてしまいます。
もうひとりの朱点童子（黄川人）は信者達の手により逃げのび、
鳥居千万宮に放置された所を九尾吊りお紺に保護されます。

291 名前：名無しさん@お腹いっぱい、投稿日：03/11/1917:32 ID:DEVpC9sb
>>290

172 : 165(sage) : 03/11/14 11:03 ID:rVMdv8of
そしてこの事態に大照天夕子は一つの決断をくだします。
強力な力を持つ、死んでしまった黄川人の姉の朱点童子を神として天界に上げ、
「大照天昼子」と名付け、自らを後見人に天界のトップに置きました。

そして大照天昼子は自らを快く思わない保守派の神様を
天界から追放し、そのほとんどが鬼へと身を落としました。
（書き忘れましたが色々なダンジョンには鬼になってしまった神がいますが
このほとんどが保守派の神様であると予測されます）

そしてその頃、九尾吊りお紺に保護された黄川人は恩返しのつもりか
お紺に富くじの当たり券など多くの幸運を授けますが、そのせいで旦那が他所に女を作り、
金を全て持ち逃げしてしまい、悲観したお紺は鳥居で首を吊り死んでしまいます。

途方にくれさまよう黄川人は天界を追放された最強の男神、氷の皇子に出会い、保護されます。
しかし、乳を与えようにも男神である氷の皇子から乳が出るはずも無く
やむなく氷の皇子は自分の血を与えてしまいます。
そして氷の皇子の血で成長した黄川人は膨大な力を元に時の帝に復讐を始めます。

292 名前：名無しさん@お腹いっぱい, 投稿日：03/11/1917:34 ID:DEVpC9sb

>>291

173 : 165(sage) : 03/11/14 11:28 ID:rVMdv8of

黄川人は大江山を根城に本格的に京都を焼き払いました。
天界としても人間達に復讐を始めた黄川人を放置しておく訳にもいかず
黄川人を抹殺すべく、総掛かりで黄川人に挑み、
なんとか黄川人を手下の鬼の中に封じ込める事が出来ましたが、
同時に幾人かの強力な神様も道連れにされ、黄川人と一緒に封印されてしまいました。
(鬼朱点を倒した時に解放された神様がそうです。)

それでも黄川人は幽体として世間に干渉する力を残しており、
封印されてしまった神様ともどもこのままでは良くないと思った大照天昼子は一つの計画を立ち上げます。

「計画的に朱点童子を作り、そいつらに黄川人を殺させる」

そして白刃の矢が立ったのは片羽のお業の姉妹、「お輪」。
お輪は地上に降り、源太という人間との間に子を作り、鬼朱点に挑みます。
源太とお輪にとって鬼朱点にやられる事は計画的であったかどうかは定かではありませんが
天界にとっては計画どおりだったようです。
そして二人の子供(主人公)は計画通りに大照天昼子に助けられ、
計画通り、親の仇として、鬼朱点を倒す事を目指します。

この事は封印を解くチャンスなので黄川人にとっても都合が良く、
主人公を見のがし、主人公一族の道先案内人にかけて出たと言う訳です。
(ただし主人公達があまり強くないように短命の呪いをつけて)

293 名前：名無しさん@お腹いっぱい, 投稿日：03/11/1917:36 ID:DEVpC9sb

>>292

174 : 165(sage) : 03/11/14 11:47 ID:rVMdv8of

軽くまとめると、

主人公一族...黄川人を殺すために作られた朱点童子。
源太...ただの強い人間。
お輪...神の一人。片羽ノお業の為に計画に賛同。
ちなみにラストダンジョンの最深部に行くと、
今まで倒してきた雑魚敵が全て黄川人がお輪に産ませた怪物である事が判明する。
つまり今まで倒してきた雑魚敵は全部、異父兄弟。
黄川人...最強の朱点童子。片羽ノお業の息子で大照天昼子の弟。
大照天昼子...片羽ノお業の娘で黄川人の姉。朱点童子で天界最高権力者。
片羽ノお業...大照天昼子、黄川人の母親。
九尾吊りお紺...黄川人の育ての親。自害。
雷電五郎、太刀風五郎...大照天昼子に天界復帰を条件に主人公達を鍛えていた。
大江ノ捨丸...大照天昼子に主人公一族を全滅させれば神にしてやる、と言われ、
最後に結局自分が主人公一族を鍛えるために利用されていたと悟る。
小説版では片羽ノお業を捕まえ、大照天昼子を殺害した張本人。
氷の皇子...黄川人の育ての親。力を黄川人に奪われた。

50 [名無しさん@お腹いっぱい](#), sage05/03/04 11:21:36ID:jummykdW

俺の屍を越えてゆけのまとめサイトの補足(続き)を書こうと思ってたら、

<http://www.linda3.co.jp/>

このコラムに会話が載ってるので詳しく知りたい人はあっちを参照してください

一応、まとめサイトの続きを簡単に投下します。

51 [俺の屍を越えてゆけ \(続き\)](#) sage05/03/04 11:34:23ID:jummykdW

本物の朱点童子である黄川人を解放してしまった一族は黄川人やダンジョンのボスから事件の真相を聞きながら黄川人が居る地獄への鍵を手に入れ、地獄で黄川人を打ち倒す。その時、一緒にお輪も殺してしまうが、お輪は神の姿に戻り、赤ん坊姿になった黄川人とともに天界に帰っていた。一族の遺影がテーマソングとともに流れてエンディング

一族の呪いが解けたことを示す描写はないが、次回作の構想を読むと呪いは解けたらしい

52 [俺の屍を越えてゆけ \(続き\)](#) sage05/03/04 12:14:24ID:jummykdW

さらに補足、黄川人から

「僕を殺す役目を果たしたら、神以上の力を手に入れた一族は神々にとって邪魔者になる」

というようなことを言われるが、もし、黄川人を倒しても呪いが解けなかった場合、神々が一族と交わるのを止めれば、一族は呪いで勝手に滅んでしまうので、神側としては好都合。

この事実や事件の真相を知って、神々に不信感を持って、一族としては神々の助けを借りるしかなく、黄川人を倒すしかない。

さらに、お手伝いさんとして一族を励まし続けてきたイツ花こそが計画の首謀者・昼子だと分かり、さらに鬱

53 [名無しさん@お腹いっぱい](#), 05/03/04 14:20:16 ID:B9z72A4k

>>50

むー、どこに会話があるのか探せなかった
ヒントキボン

54 [名無しさん@お腹いっぱい](#), sage05/03/04 14:47:58ID:jummykdW

>>53

サイトの一番下辺りにある「COMPANY」の3つ目の柘田省治コラムにある。柘田省治コラムの中程にある俺の屍を越えてゆけコーナーの「俺屍、台詞集」がそれ。順番はストーリー上とは違うんで気をつけて読んで下さい

514 [漏屍](#) sage2005/03/21(月) 05:07:45ID:pA4fYKKB

俺屍まとめ (公式指南書より抜粋)

神様

魔法or技術で不老不死になった何千~万年前の人間。
副作用の為か、子孫を残す事が出来なくなる。

人間

不老不死にならなかった昔の人。
今の人類の祖先。

はじめり(1)

時は流れて天女がある人間を好きになり結果、天女は女子(イツ花)と男子(黄川人)の二人の子供を身籠る事となる。
ここで神と人が交わると神の血(力)を引いた子供が産まれる事が証明される。

はじめり(2)

この子供を巡り、天界は2つに割れる。

革新派：子供達を自分の代理として人間を支配させよう。

保守派：人間に関わるのは止めよう。
まだ自分達の知識を伝える段階ではない。

はじまり(3)
革新派の神様が人間界に

【お前達の新しい指導者だ】

っておふれを出す。
で、それを信じた者達が子供達の為に大江山に都を造る。
しかし、時の帝がこれを阻止。
結局、天女と旦那、イツ花はその場で殺される。
唯一、黄川人は信者の手により逃げ落ちる。

516 [漏屍](#) sage2005/03/21(月) 05:34:24ID:pA4fYKKB

イツ花

大江山で殺されたイツ花の魂は天界に行き昼子になり、肉体は転生しイツ花になる(非公式?)

黄川人

生き残った黄川人は世の中を怨みながら成長。途中、氷ノ皇子などから力の使い方を学ぶ。
が、危機を感じた天界の神々により黄川人の部下の鬼(鬼朱点)の体に封印される。

朱点童子

神様と人間の間にも産まれた子供達の暗称。
イツ花、黄川人、主人公一族の事を指す。

主人公一族

「朱点童子を殺す為だけに生まれたもうひとりの朱点童子、それが君達の始祖サ!!」
(地獄での黄川人との会話)

535 [名無しさん@お腹いっぱい](#), sage2005/03/21(月) 14:18:56ID:InhhrMoC

>>514

帝の軍勢に保守派の神が武器とか術を貸し与えていたことも。
肉体がイツ花になる所は小説で描かれてるから、公式としてもいいんじゃないかな。

補足として小説の話：大江山で死んだイツ花の魂は神となり、魂寄せお蛸に導かれ天界へ上り、

肉体は神となった魂の神気を浴びて新たな魂が宿り、爺さんと婆さんに拾われて育つ。
小学生ぐらいの年齢で相場屋に奉公に行く事になり、奉公先の主人に眼鏡を貰う。

天界ではイツ花の魂は他の神から「放(ひ)られた子」ということで「放る子(ヒルコ)」と呼ばれ、

一部の神(革新派)から忌み嫌われていた。

その後、放る子は昇天の儀式で神としての自分の名前の希望を問われ「昼子」と答え、
更に天界一の実力者である大照天夕子から苗字を賜り

「大照天昼子」(苗字は反対にすると天照大となり、アマテラスを表す)と名乗ることになる。

人間のイツ花は天界での一部始終を夢として見ており、そこでの昼子はいつも泣いている。
一方、黄川人を連れて逃げた信者は神社の鳥居で力尽き、黄川人は人間だったころの九尾吊りお紺に拾われる。ダメな亭主のおかげで人生を苦しめたお紺は神社の鳥居で黄川人を絞め殺し、自らも首を吊って死ぬ。しかし黄川人は死んでおらず、氷ノ皇子のもとに辿り着く皇子は赤子だった黄川人に母乳の代わりとして自らの血を与える。

神界でも最上位の皇子の血を吸って黄川人は力をつけ、皇子から術を習う。

黄川人は冷たい流水道の底にあって、唯一赤い存在という事で「朱点」と名付けられる。

ある時、人間に酷い目に遭わされ下水道に捨てられ死に掛けの敦賀ノ真名姫(人魚)を見つけた皇子は経を唱え昇天させようとする。しかし、真名姫を助けようと考えた黄川人は皇子から習った術で反発し、皇子を倒して何処かへ消える。

黄川人は人間への復讐を誓い、大江山を襲った山賊の捨丸を彼に怨みを持つ怨霊を使役し

て殺す。
京の都は妖気に包まれ、天界では滝が燃え上がり、大地が崩れるなどの災害が起こっていた。
災いの原因が昼子の弟である黄川人である事を突き止めた神々は、その原因を作った革新派の
神々に黄川人の始末を命じる。結果的に、昼子を含む二十柱の神々が朱点討伐に赴く事になった。
地上では、景気付けにと相場屋の主人が部下を率いて大文字の送り火をするが、突如現れた少年（黄川人）に襲われ、送り火は紫色に激しく燃え上がり「大・江・山」と形を変える。
その直後から都の周辺には妖怪が跋扈するようになる。人々は絶望したが、天界の夢を見るイツ花は諦めていなかった。ある朝、人々が空を見上げると天界から無数の神々とその眷属が大江山に列をなして向かっていく。人々は神々の戦闘を進む見慣れない女神（昼子）について噂した。
朱点の配下の妖怪や怨霊達と神々の激闘の末、傷ついた神々は昼子の合図と共に光となって朱点に捨て身で向かい動きを止める。が、同時に封印を施す筈だった昼子は動かない。
裏切ったかと思われた昼子だが、朱点を確実に封じる為に敵を油断させていたのだ。
朱点は力が強いだけの馬鹿な鬼に封じられ昼子は一人、天界へ帰る。
相変わらず妖気は消え去らないが、それでも活気を取り戻した人々はあの新しい女神を奉る神社を、都の焼け跡の一角に建てる。
騒動で主人を失ったイツ花はそこで昼子神の巫女となり、ゲームでは主人公の家に仕えることになる。